

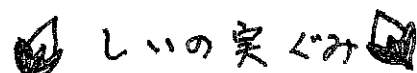


しいの実
たんぽぽ
みず

ぐみだより

2025.6.

円町まぶね隣保園



しいの実ぐみ

しいの実ぐみでの生活にも、すっかり慣れてきた子どもたちです。毎日、活動を除いて、ほぼ同じような流れの生活がくり返されています。少しずつ子どもたちの中に、生活を見通す力が育ちます。「お散歩に行くよ」「～に行くよ」と声をかけ、しいの実ぐみの棚を開けると、子どもたちは、ハイハイや歩いて保育室を出て、出口を目指します。食事のテーブルの準備や、給食が運ばれてくると見ると、自分でテーブルまで行って、いすに座ろうとします。「オムツ替えるよ」とトイレの扉を開けると集まってくる子どもたちです。保育者の声かけで、次は何をするか少しずつ見通しを持って行動するように、なっています。

ぬたくり



初めて絵の具を使いました。筆ではなく、洗面器に入れた絵の具に手を付けて、画用紙の上でぬたくりする、好きな色の絵の具を前に、「どれにする？」と聞くと何となく色に手を伸ばします。絵の具に手を付けるとの感触と、その感触をどう感じるかな？と不思議でしたが、嫌がることなく手に付いた絵の具をじっと見ていました。初めてだったのに、遠慮がちなぬたくりをしていました。これから回数を重ねて、どんどん大胆になっていくのが楽しみです。

おともだちと



自分の好きなおもちゃを見つけて、1人遊びをしていた子どもたちも、だんだんとお友達とのことに関心するようになってきました。お友達とかがあそびているおもちゃを見ると「自分もほし」と取りに行きましてもお友達が取らなくて、お互いに引っ張り合いになる時もあります。その反面、自分の持っているおもちゃを「はい」と渡りあげたりする姿もあります。今まで自分だけの世界から、お友達との関わり合いの世界に広がっています。その中で、自分の思うように行かないと泣いたり、怒ったり、時にはお友達の手がでてしまう時もあります。まだまだ自分の思いを伝えるのは難しいので、保育者が子どもたちの思いを受け止め、一緒に関わり合っていくしたいと思います。

感触あそび



初めて白玉粉であそびました。洗面器に袋から出すと不思議そうに見て、目の前に持っていくと、嫌がることなく、すぐに感触にきます。水と混ぜてコネていく間もじっと見ています。粘土になったものを指でツンツン触ったり、ちぎったりしていました。粉のサラサラした感触や粘土のモチモチした感触、どちらも楽しんでいました。これから色々な素材での感触あそびや、夏ならではのあそびを楽しんでいきたいと思っています。

たんぽぽぐみ

梅雨がまだ明けていない中、じめじめと暑い日が続いています。晴れた日には屋上に出て、シャワーや水あそびをして汗を流しています。タライの中に入っている水を手で叩きながら水の感触を楽しんでいますが、顔や身体にかかる冷たさにビクッと身体を震わせています。シャワーを頭から浴びた時にも同じで、今はびっくりして泣いてしまう子どもがほとんどです。来月のプールあそびに向けて、少しずつ水に慣れていけるかなと思っています。今月の活動の中で絵の具でお絵かきをする機会がありました。画用紙に筆を置くと、またペンとは違う滑りに楽しさを感じたようで、それからスラスラと描き始めました。いっぱい描いている途中で手に絵の具がついた時には苦笑しながら、手を差し出し、「手についたんやけど...」と言ったそうにしていました。プールあそびに加え、感触あそびもしていきたいと思っているので、無理なく楽しんでいきたいと思っています。

大人の動きを見て

子どもは見えないようで大人の動きや言動をよく見て、聞いているなと感じます。大人がしてしまう何げない行動を子どもが真似ていると、思わずはっとしてしまいますね。例えば、電話をしている真似をあそびの中でしている時があり、「うんうん」と相づちをうつ姿も見られます。その姿がかわいくて、よく見ているんだなと感じます。この時期は、日常生活の中でも見て聞いて覚えることが多い子どもたちです。話をして伝えながら、保育者も動き、「こうやってするんやで」と言うと、同じようにやってみたりしています。その中で自分でも出来たと自信にも繋がっていくのかなと思いました。大人がやってみることで子どもの「やりたい」を引き出しつつ、楽しみ、色々な「できた!」を経験していきたいと思っています。



今月は、肌寒いと感じられる日もありましたが、梅雨に入ってから、じめじめと雨が続き、真夏のような暑さの日もありました。子どもたちは、この気温の変化の中でも、元気に過ごしています。気温や天気に合わせて、散歩、室内あそび、水あそびなどを楽しんでいきます。これから夏に向けて、プールあそびや、夏ならではのあそびが、待ち遠しい子どもたちです。



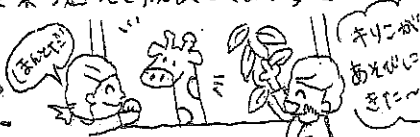
みずぐみ

みず組には、2ヶ月が経ちました。生活に慣れてきて毎日笑ったり時には泣いたり怒ったり、とても賑やかです。安心して気持ちを表現できるように、なにより言葉がかなと感じています。

保育室の中で子どもたちが好きなスペースがあります。それは、部屋の角にあるちょうど玄関と柱の間の2、3人入るのがぴったりの狭いスペースです。気づけば毎日誰かが入っていて、特別何かおいてあるわけでもないのですが子どもたちにとっては落ち着くのかワクワクするのにか魅力的なスペースのようです。ある時、そのスペースに入りたい子どもと既に入っていて出たくない子どもがいまげに、お互いが主張し合いますが「上手いかな...」そんな時誰かが「あ、窓の外にキリンがいる!」と言いました。不思議なことにその一言でみんなが窓の方へ向かいます。実際にはキリンはいないのですが、子どもたちには動物園のような世界が広がっていて「わ! こっちはキリンがきた!」などというささまで言い合っていることが、まるでのようにスペースの取り合いも忘れて窓の外に夢中になっていました。

自分はこうだと思ったら急に逆転するのですが、面白いことに2歳児は矢張りがりで楽しいことがあると吸い寄せられていきます。自分の思いを通そうとこじわる姿もあれば、次の瞬間には気持ちがセリ替わることもあり、感情がジェットコースターのように変化していきます。思いもよらない出来事に大人は驚かされますが、時には葛藤を抱き、葛藤を乗り越えて成長していく姿をあたふたに見守っています。

水に触れる、楽しいね!



今年の梅雨は雨が少なく、例年より早く水あそびをしています。水あそびが大好きな子どもたちは「今日は屋上に行くよ」と伝えると瞬時にドアへ向かっています。タライに入っている水に手を伸ばしてかき混ぜたり、コップやジョウロを使って全身びしょ濡れであそんでいます。水に触れると思っている以上に体力を消耗しているようでその日の午睡はぐずります。7月にはプールが始まります! しっかりと水分や休息をとり、夏ならではのあそびを楽しんでいきたいと思っています。